

早期収穫稲WCSを活用し乳牛の飼料費を低減

畜産センター

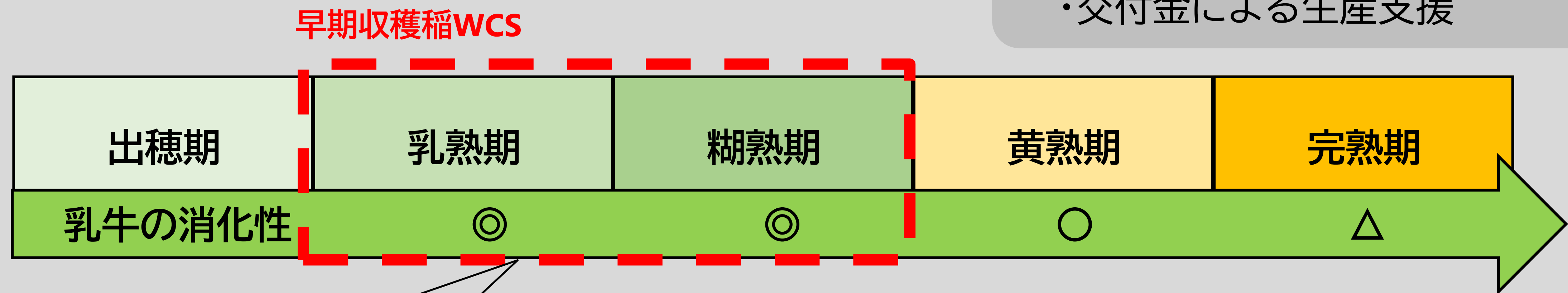
問い合わせ先: 畜産センター研究・支援部 0773-47-0301

主な成果

高騰する輸入粗飼料の代替として、飼料用稲を早刈りし、稲WCSとして給与することで、飼料費を安価に抑えつつ、慣行と同等の泌乳成績を維持できることを確認しました。

- 消化性・採食性に優れる早期収穫稲WCSに着目

稲の熟期進行



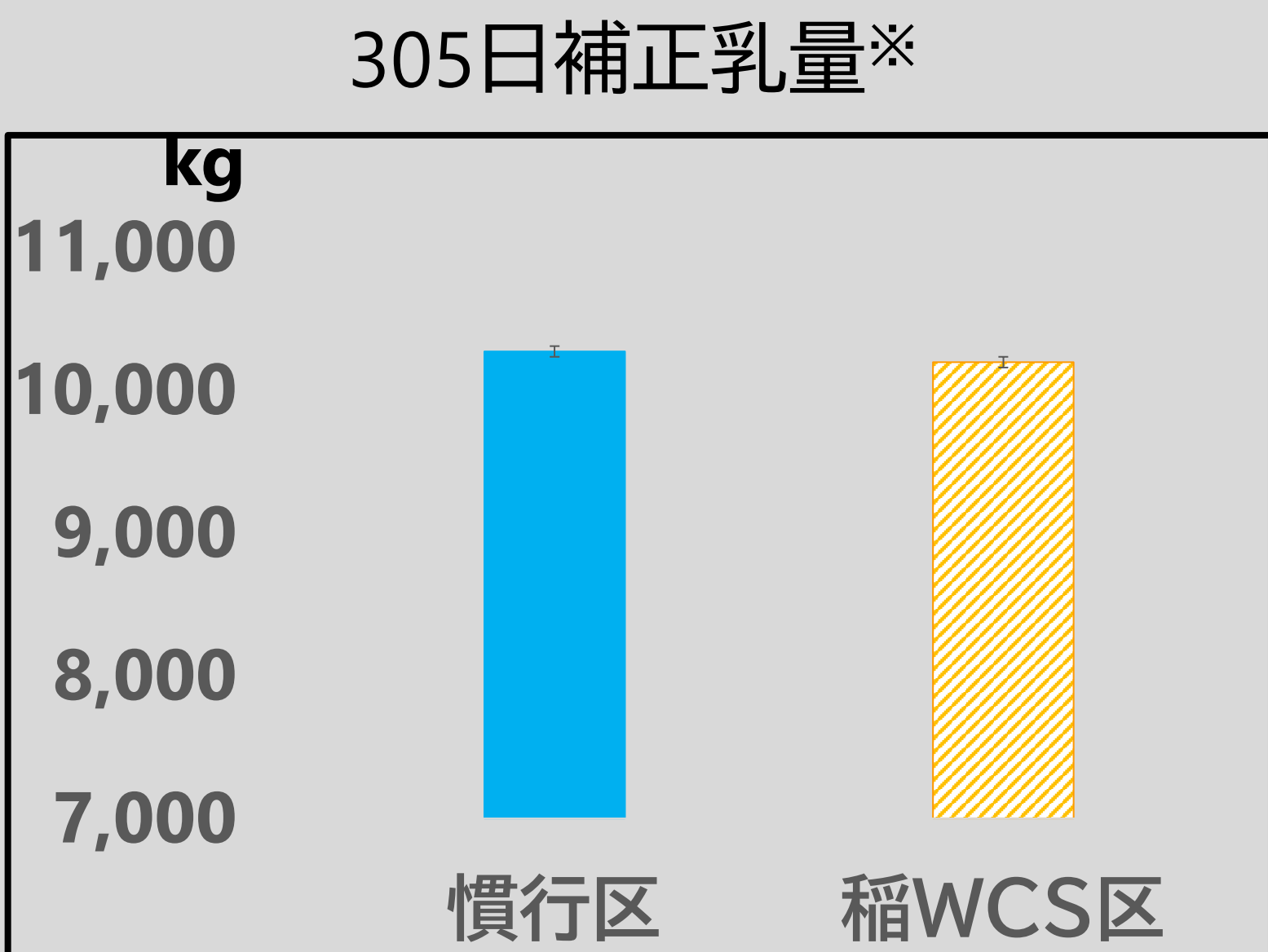
稲WCS栽培のメリット

- ・主食用米と刈取時期の分散が可能
- ・収穫はオペレーターに委託可能
- ・交付金による生産支援

- 消化率は慣行区と同等

	乾物消化率
慣行区	57%
稲WCS区	60%

- 泌乳成績は慣行区と同等



※305日補正乳量: 産次や月齢、季節等を補正した年間乳量

	乳質	
	乳脂肪	乳蛋白質
慣行区	4.34%	3.49%
稲WCS区	4.13%	3.53%

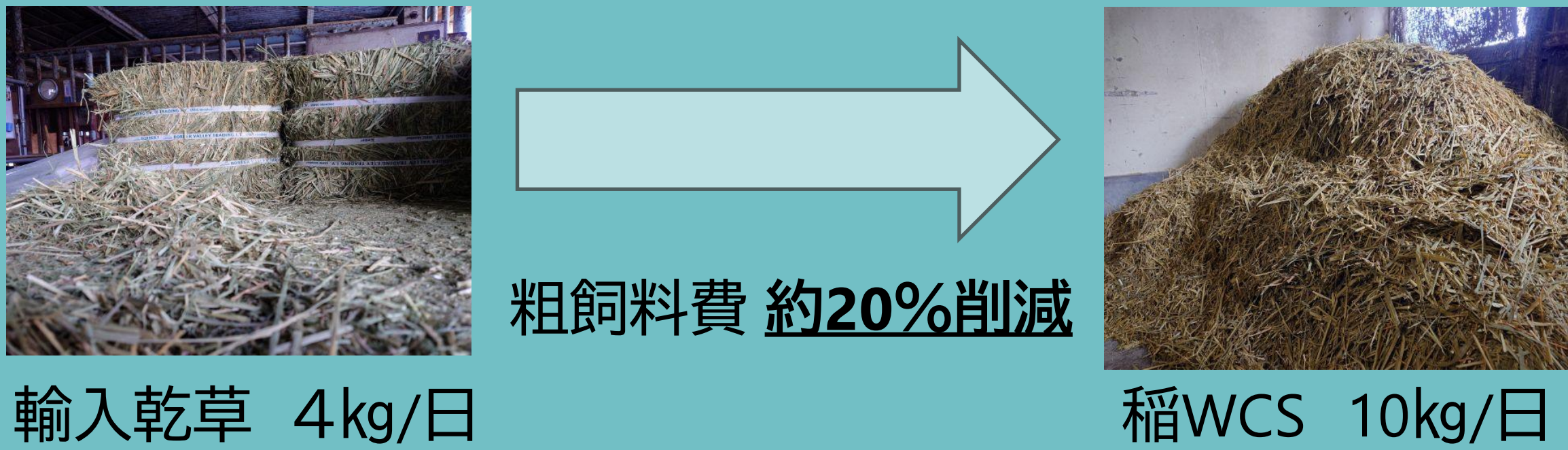
- 稲WCSは通年給与が可能

乳牛の泌乳サイクル



乾乳～泌乳期を通して稲WCSを給与可能
稲WCS給与可能量 10kg/日

- 輸入乾草を稲WCSに代替可能



年間約220万円の飼料費低減効果
(飼養規模約50頭/年の場合 ※参考値)

期待される波及効果

- 稲WCS給与マニュアルを作成し府内酪農家へ稲WCS給与技術を普及
- 飼料費低減による、酪農経営の安定化
- 水田を活用した、府内における粗飼料自給体制を推進